

1 産地の概要

＜対象地域＞ 邑楽郡明和町

＜対象品目＞ ナシ(梨)

＜産地の現状＞

明治時代から始まり昭和40年代には、ナシ農家が約100戸となり最盛期を迎えていたが、現在では生産者の高齢化等に伴い、農家戸数は23戸、栽培面積9haと最盛期の約1/3と減少している。

しかしながら、平成30年度に若手有志を中心に農事組合法人梨人(なしんちゅ)が設立され、令和元年度には共同選果所兼直売所が建設された。

法人化により新規就農者の受入れ体制を確立し、また栽培技術の研修会等を開催し、産地の維持だけでなく、品質・農業所得の向上を目指し活動している。

＜課題＞

- ・農業者の高齢化、後継者不足による産地の維持
- ・労働従事時間の省力化
- ・新規就農者の確保
- ・ナシ園の流動化

2 検討体制

＜明和町次世代につなぐ先端技術推進協議会構成員と役割＞

- ▶生産者・農業委員（役割: 検証・地域への啓発）
- ▶JA邑楽館林・ICTベンダー・農機メーカー（役割: 先端技術検証・データの提供）
- ▶館林地区農業指導センター・東部地域研究センター（役割: 技術導入の助言・指導）
- ▶明和町（役割: 検討会事務・先端技術調査・事業の周知・啓発）



非破壊糖度計の実証

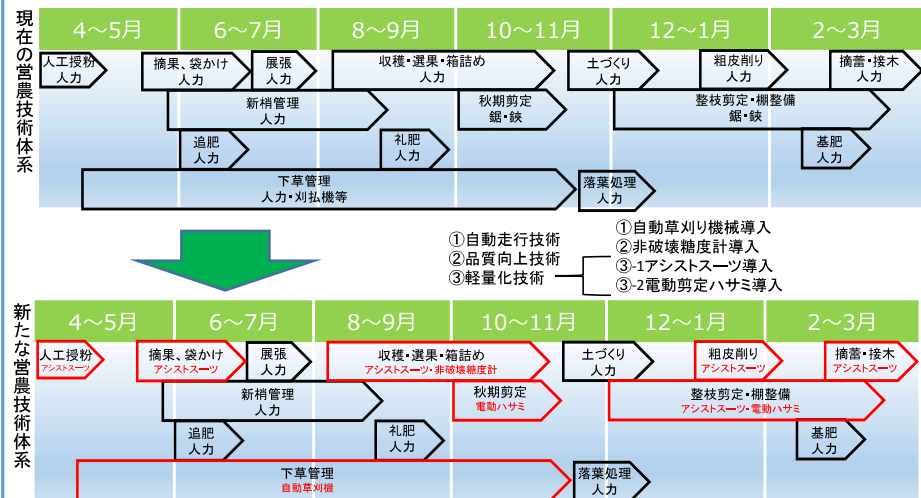


電動剪定ハサミ実証

3 新たな営農技術体系への転換

＜目指す産地像＞

明和町の特産品であるナシ産地を維持・発展させるため、自動草刈機や電動ハサミなど最先端の省力化技術を導入し、更なる担い手の確保、ナシ農園の流動化を進め、「伐採・放任せずに後継者・担い手へ！」を合い言葉に、**産地規模は小さくとも、オンリーワンのナシ産地**を目指す。



＜新たな営農技術体系の効果(検証結果)＞

- ・自動草刈機 作業時間60→24分/100㎡ **作業時間40%短縮**
- ・非破壊糖度計 生産量の6%を糖度保証で有利販売(農事組合法人梨人)
- ・電動ハサミ剪定 枝22→44本/5分 **作業速度2倍**
- ・アシストスーツ剪定補助 **労力負担軽減あり。時短の効果は調査継続中。**

＜新たな営農技術体系の今後の取組内容＞

取組主体	R 3	R 4	R 5
館林地区農業指導センター	新営農技術体系の周知	新営農技術体系による適期・安全作業、栽培技術の普及	
JA邑楽館林・ベンダー	新営農技術体系(機械導入等)による営農効果の試算		
東部農業事務所農業振興課 明和町役場	新営農技術体系の周知	新営農技術体系(機械導入等)に係る補助事業支援	